

【学校評価実施方法】
 (1) 今年度の実践目標の項目1～35について、本校全教職員による「4段階評価」を実施する。
 4……よくできている 3……できている 2……あまりできていない 1……できていない
 (2) 各項目ごとに平均をとり、その平均値について次の基準でA～Dの達成段階をつける。
 平均値⇒達成段階 1.0 ≤ x < 2.0 ⇒ D, 2.0 ≤ x < 2.8 ⇒ C, 2.8 ≤ x < 3.5 ⇒ B, 3.5 ≤ x < 4.0 ⇒ A

評価の観点	評価項目	番号	実践目標	中間評価	年度末評価	具体的な改善策の提案	学校関係者評価意見
確かな学力の定着	授業研究の推進と生徒の授業評価の有効活用	1	全教科での授業公開・研究授業の実施	B	B		報告を聞き、先生方はよくがんばっていると感じる。 三木市内の三木高校以外の高校も熱心に指導をされ、がんばっている。三木高校もさらに多くの生徒が国立大学への進学を実現できるよう、がんばって欲しい。 一【学校から】生徒の進路実現、出口の保障については本校の重要な課題であると認識し、取り組んでいる。今後も国際総合科が新しく設置され、一層の進路実現の充実に努めていきたい。
		2	生徒による1学期・2学期の授業評価の実施	B	B		
	教材の持ち帰りの徹底と家庭学習習慣の確立	3	生徒の教材持ち帰りの徹底	C	C	授業の持ち物を減らす。 持ち帰り指示の後の点検。 生徒指導部による定期点検。	
		4	生徒の下校時間の厳守	C	C	教師によって認識にずれがないようにする。	
	計画的・継続的な補習の展開	5	指名補習と希望補習の充実	B	B		
		6	夏季休業7月中の全員補習の実施	B	B		
進路指導の充実	3年間を見通したキャリア教育の実施と明確な目標設定の確立	7	3年間を見通した三木高校の指導の基本計画の運用	B	B		地元の学校を支えるんだという地域のムードづくりにつながる広報も大切だと思う。 一【学校から】地元中学校や三木市教育委員会とも情報交換を密に行いながら、一層、三木高の広報に努め地元で支持される学校作りを目指していく。
		8	事業所でのインターンシップの体験機会の充実	B	B		
	進路講演会(含保護者)や効果的な模試の実施	9	進路講演会の計画的な実施	B	B		
		10	3年間の進路指導計画に位置づけた模試の実施	B	B		
MICの充実と国際総合科の広報活動	教育活動の改善・充実	11	英語合宿や大学教員等を招聘したMICならではの教育活動の実施	B	B		
		12	三木高校「英語GAN-DOリスト」の作成	B	B		
	小中学校との英語教育連携の推進と国際交流の充実	13	小中の英語教員との英語授業研究会の充実	B	B		
		14	国際交流事業の充実	B	B		
	15	国際総合科の効果的な広報活動と学校説明会の実施	B	B			
意思統一が図られた生徒指導と安全教育の徹底	挨拶と身だしなみ(服装・頭髪)指導の徹底	16	端正な服装、頭髪の指導徹底	B	B		スマホの活用について、塾などではインターネットによる講義の動画配信を繰り返し見てわからないところを何度も確認できるような仕組みも作っている。学校の授業も繰り返し見られないところを見ることができるようにするためのICT活用の研究をしてはどうか。 一【学校から】ICTの活用については多くの教員が研究、実践に取り組んでいる。動画配信となると、県の情報教育ネットワークのセキュリティーの制限なども考慮し、研究が必要である。今後、インフラ整備も含めて研究をしていきたい。
		17	日々の登校指導と時期をとらえた生徒へのマナー向上の啓発指導の実施	B	B		
	登下校時の通学マナー・交通ルールの遵守	18	日々の登校指導と交通安全講話等の実施	B	B		
		19	22時以降のスマホ、携帯電話の使用禁止の推進	B	C		
部活動の活性化	入部率の向上	20	入部率90%を目指した指導	B	B	部登録制度の改善。 一斉登録日ではなく、登録期限を設定する。 新入生向けの部紹介の実施。	
		21	質の高い練習による上位大会への進出、効率的な練習による下校時間の徹底	C	C	下校時間の見直し。	
	22	中学校との部活動連携の推進	C	C			
清掃の徹底	清掃指導の徹底	23	各清掃監督による指導徹底と美化コンテストの実施	C	C		
		24	窓ガラスの美化徹底	C	C	大掃除の時間の拡大	
	25	ふるさと貢献活動と結び付けた校内外の大掃除の実施	C	B			
積極的な情報発信	HPのタイムリーな更新と定期的な学校だより・学年通信等の配布	26	行事ごとに速やかなHPへの反映	B	B		
		27	毎月1回の三木高校新聞の発行と近隣中学校への配布	B	B		
		28	定期的な学年通信の配布	B	B		
	授業公開週間の実施と学校行事の公開推進	29	1、2学期に公開授業の実施	B	B		
		30	文化祭、体育大会、MIC英語合宿の地域への公開	A	A		
	31	本校生徒を前面に出し、中学生に本校の魅力を訴える内容の充実	B	B			
ふるさと貢献活動の充実	通学路の清掃をはじめ各種ボランティア活動の推進	32	校外大掃除と運動した通学路の清掃実施	B	B	毎日掃除をやっていない清掃分担区域もあります。毎日の清掃区域に舎外清掃を入れたらどうか。	
		33	三木市の事業への協力や地域の施設等でのボランティア実施	B	B		
	34	地域の祭り等、地域行事への積極参加	B	C			
特別支援教育・命と心の教育の充実	特別支援教育委員会(いじめ対応チーム)の効果的開催	35	生徒の状況について、職員間での情報共有の推進	B	B		
		36	学年と保健部の連携による情報共有と職員研修や生徒向け講演会の実施	B	B		
	37	命の大切さや思いやりの心の教育推進	B	B			
勤務時間の適正化	週1回のMHの徹底とノー部活デーの推進	38	MHデーの定時退勤の推進	C	C	毎度書いているが、MHの曜日を毎週同じにしない。業務のスリム化。	
		39	部ごとのノー部活デーの設定と実施	C	C		
	40	校内LANの効果的活用	B	B			
	41	効率的な事務処理システム等の工夫・改善と各種会議の時間短縮の推進	C	C	活用方法研修		
42	内容により長期休業中に集中審議を検討、実施	C	C				